

岩櫃山（802m）

【山行日】 2016年 12月 11日(土)

【メンバー】 CL高崎、高木、横田、阿部よ、阿部ま

【交通、費用】 2,200円/人+温泉400円

【日程、コース】 天気 晴/時々小雪舞

小山市役所 6:00=栃木IC=渋川伊香保IC=古屋登山口(トイレあり) 8:45/9:00...

密岩登山口 9:15...尾根鞍部 9:50...天狗の架橋 10:00...岩櫃山 10:30/10:35...九合目...

櫃の口...赤岩通り分岐...赤岩登山口 12:00...密岩神社 12:15...古屋登山口 12:30=

岩櫃城温泉(13:00~14:30 昼食、入浴)=渋川伊香保IC=栃木IC=小山市役所 17:10(3時間半)



岩櫃山は小高い岩山です。怖そう！



急登とクサリ場の連続です



後ろは絶壁です



ここも絶壁、スリル満点の連続です。



山頂直下のクサリ



山頂です



ここも怖いクサリ！



隣のピークから山頂を望む。人がみえますか？



またまたクサリ！！



久しぶり、コンドルが飛びました。



密岩神社からの岩櫃山



真田丸に出演中の俳優さん！ラッキー！！

5人の山行でした。岩櫃山の登り口までは、大型車は入れない細い道です。駐車場は、大河ドラマで人気の真田の六文銭の旗が何本もはためいていました。きれいなトイレもありました。岩櫃山は、見上げると、岩がそりたっている険しい山に見えました。登りは、結構急な細い山道で、階段には落ち葉がいっぱい積もっていて滑りそうで、下に落ちないように気をつけながら登りました。天狗の架け橋のところは、すごく怖いところで、鎖を伝って登りました。反対側は、ガケになっているので、すごく気が抜けなかったです。

山頂は狭く、写真を撮るのも気を付けて撮りました。榛名山、妙義山など、周りに色々な山々が見えました。下りも、鎖を伝って、こわごわ下りました。

その後、下りてまたガケを登り、一休みのできる大きい岩の上で、阿部さんのケーナ演奏。「コンドルは飛んでゆく」を演奏してくれました。山の上だったので、とても良かったです。下りは、結構危ないところが沢山あり、気を抜くことが出来ない山でした。途中の赤岩通りでは、私が、「なんで、ここは赤い山道なのでしょうね。」ととぼけたことを言ったら、みんなから、「ここは赤岩通りだよ。」と言われてしまい、はずかしかったです。

下山すると、潜龍院跡に東吾妻町の撮影隊がいて、大河ドラマに出てくる男性俳優3人組を見ることが出来ました。その後、密岩神社をお参りした時に、またまた、大河ドラマの俳優3人組みに会うことが出来ました。一人は写真を撮らせていただきました。真田幸村の姉の旦那の役の方でした。

帰りは、お城の温泉施設で、うどんを食べ、温泉につかり、帰宅しました。楽しくて、アドベンチャー感がある山行でした。
(高木 記)

岩櫃山は3～4時間のコースですが、急登とクサリ、はしごの連続で絶壁もある難度の高い危険な山でした。展望は最高です。現地は大河ドラマで地域活性化中でした。駐車場のトイレも整備されていて、トイレがきれいでした。

岩櫃城史跡は、NHKの大河ドラマ「真田丸」の舞台の一部で、出演中の俳優さん3人と、たまたま出合いラッキーでした。(岩櫃城温泉のコンベンションホールでのトークショーに出演する俳優さんが、現地を訪れていた模様です。) 岩櫃城温泉くつろぎの館は温泉400円、レストランもあり、「おっ切込うどん(620円)」はお勧めです。
(阿部ま 記)

岩場・鎖場の通過

12月山行の岩櫃山は、山行報告にあるように急な岩場が多く、鎖を使わないと登れない山です。ここの岩場は急ですが足場や手がかりになるところが多く技術的には難しくないのですが、万一落下すると大事故になる恐れがあるコースです。今回は慎重に行動したのでヒヤリもハットもなかったのですが、この機会に岩場・鎖場の通過について復習しましょう。

1. 岩場では、両手両足を使い安定した姿勢を保って登り降りするのが基本です。足はつま先を正面に向けて足場に立ち、上半身を岩から少し離します。
2. 移動するときは、両手両足の一つだけを動かします(三点支持)。手や足を移動する場所は体から遠すぎない所にします。
3. 岩場の下りでは足場が見えないこともあり登りより難しく感じます。この時は上半身を岩から離して少しひねり足場を確認しながら降ります。
4. 鎖場の通過では、片手を岩の手がかりに置き他の手で鎖をつかみます。こうして三点支持で登り降りします。この時足で体重を支えていることを意識します。なお、手がかりや足場が無いときなどは、両手で鎖をつかみ体重をかけて降りることもあります。危険な場所なので特別な注意が必要です。
5. 岩場・鎖場などの難所に行くときは、ヘルメット、滑りにくい手袋(皮など)、スリング、カラビナをもっていきましょう。
6. 鎖場を通過して後から来る人を待っている時に転落などの事故が起こりやすいと言われています。しっかりした鎖、立木などにつかまり自分自身の安全を確保します。